

議会ガイド



第3回 町民フリーマーケット & 特産品フェア

～9月4日開催 パルナスにて～

第3回定例会 (平成23年9月)

目次	■ 第3回定例会	P 2
	■ 第2回臨時会	P 3
	■ 決算特別委員会	P 4
	■ 一般質問	P 6
	■ 委員会の動き	P 10
	■ 議会の動き	P 10





稲わら有効利用推進事業によるすき込み作業

第3回定例会

9月6日～15日

一般会計 二億三千七百一十一万五千円を追加 補正予算 総額七十五億五千八百九十九万三千円に

平成二十三年第三回定例会が、九月六日から十五日までの日程で開かれまし
た。九日には、一般質問が行われ、川山議員、塚本議員、荒関議員、青
山議員の四名が、町側の答弁を求めました。最終日の十五日には、質疑、
討論、採決が行われ、一般会計及び各特別会計の決算の認定九件、一般会計
補正予算など議案四件が、いずれも全会一致で可決、承認、同意されました。

可決

■一般会計補正予算

第八号

主な補正額(歳出)は次の
とおり。

□総務費

ふるさと雇用再生特別基
金事業 二百十七万円
無線システム普及支援事
業 六百九万円
財政調整基金積立金
一億四千八十六万円

□民生費

要援護者情報管理システ
ム

△導入 四百九十九万円
生活介護事業
二千二百三十四万円

施設入所支援事業
九百六十八万円

共同生活介護事業
二千四百四十七万円

旧法施設支援事業
減額二千四百四十七万円

□農林水産業費

稲わら有効利用推進事業
補助金 七百七十七万円
環境保全型農業直接支援
対策交付金
四百二十三万円

水産分野人材育成
四百五十二万円

報告

■財政健全化比率

実質赤字比率 1%
連結実質赤字比率

1.38%
実質公債費比率 17.1%
将来負担比率 119.8%

■公営企業会計に係る資金不足比率

水道事業特別会計、農業
集落排水事業特別会計、漁
業集落排水事業特別会計と
も1%

■法人の経営状況に ついて

財団法人うみどりーむ振
興公社の業務内容及び収支
計算書の報告
次期繰越額 百四十三万円

人事案件

■人権擁護委員の 推薦について

平成二十四年一月一日か
ら菊池俊一さん(深郷田)を
再び推薦したいと意見を求
められ、同意することに決
定。





新一般廃棄物最終処分場安全祈願祭の様子

一般廃棄物最終処分場建設実施へ

工事費 十一億五千七十七万円

第2回臨時会

8月12日

農村活性化施設改修へ

新たな加工施設へ
向けた取り組み

- **工事請負契約の締結**
町一般廃棄物最終処分場建設工事。契約業者東洋建設・田中建設特定共同企業体。契約額十一億五千七十七万円。
- **一般会計補正予算 第七号**
主な補正額は次のとおり。
□ **農林水産業費**
農村活性化施設改修工事 一千二百六十九万円
財源は、原子燃料サイクル事業推進特別対策交付金 一千二百万円を活用。

平成二十三年第二回臨時会が、八月十二日に開かれ、専決五件、工事請負契約について、一般会計補正予算など議案七件が、いずれも全会一致で可決、承認、同意されました。

中里地域の 水源確保へ

- **水道事業特別会計補正予算第2号**
水道水源として使用している尾別四号井が老朽化及び東日本大震災以降、濁りが生じ使用不能となり、代替井として新たにさく井工事を実施。
建設改良費 三千八十万円

専決処分

- **一般会計補正予算 第五号**
主な補正額(歳出)は次のとおり。
□ **総務費**
共生の地域づくり事業 百三十万円
小泊小学校電話機器購入 三十八万円
- **一般会計補正予算 第六号**
主な補正額(歳出)は次のとおり。
□ **総務費**
旧大沢内小学校解体設計及び土地評価鑑定 百四万円
□ **災害復旧費**
芦野地区用水路災害復旧工事 二千二十八万円



共生の地域づくり事業(昭和の暮らし体験教室)の様子

中泊町全会計決算額一覧

	決算額		差引額
	歳入	歳出	
一般会計	8,292,079,771	8,174,615,594	117,464,177
国民健康保険(事業勘定)	2,421,505,495	2,487,822,651	△ 66,317,156
国民健康保険(施設勘定)	242,437,206	640,590,933	△ 398,153,727
老人保健事業	185,234	185,234	0
介護保険事業	1,427,670,712	1,423,344,344	4,326,368
農業集落排水事業	36,898,043	36,443,402	454,641
漁業集落排水事業	28,703,176	28,344,324	358,852
特別養護老人ホーム静和園事業	322,878,278	316,548,599	6,329,679
後期高齢者医療	224,111,799	224,063,462	48,337
水道事業(収益的)	358,598,037	295,874,336	62,723,701
合計	13,355,067,751	13,627,832,879	△ 272,765,128

決算特別委員会

9月12日・14日

九月十二日から十四日の二日間、全議員をもって構成する決算特別委員会(委員長青山雅晴、副委員長秋田博)が開かれました。十四日には、採決が行われ、いずれも全会一致で認定されました。

一般会計決算の

質疑と答弁(抜粋)

■荒関委員

保育料は大分収入未済額が少なくなっている。これは努力の結果であり、保育料の滞納の徴収対策実施要項に従ってやった結果だと思ふ。本年度は、現年度分で収入未済があつたのか。

■工藤福祉課長

二十二年度は、前課長が約束したとおり、職員一丸となつて努力した結果、未済はない。

■塚本委員

住宅使用料で、未済額が非常に多いが、今までにどのような方法で徴収しているのか。

■三上環境整備課長

大部分は口座振替等です。中には徴収に行けば払つたり、滞納している人は

■荒関委員

住宅使用料の収入未済額が昨年より増えている。保証人に対して納付催促書を出したことがあるか。

■三上環境整備課長

文書ではなくて、保証人を実際会つて話したとは聞いている。ただ、それが滞納者全員の方にそうした対応をしたのではなくて、一部実施したと聞いている。

■荒関委員

結果が余りいい結果でないというのであれば、今後どういう対策を考えているか。

■三上環境整備課長

文書でもつて促すということもこれからは実際にや

■塚本委員

体験型観光開発と、それから新幹線対応観光商品開発とあるが、どういう事業か。

■赤石水産観光課長

体験型観光開発事業は、国の緊急雇用創出事業を利用して、農林水産業の体験や、ブランド化を追求し、農地などを活用した農業体験、あるいは漁業を活用した漁業体験などをシステム化して、着地型観光という観光体験の促進を図るという観点から、うみどりーむ

■沖崎委員

振興公社に2名委託という形で支援した。新幹線対応も同じ緊急雇用ということで、東北新幹線全線開業に向けて町の特有の歴史や文化、農林水産業から新たな観光商品を開発するため、小泊観光協会のほうに委託という形で1名支援した。

■小野町長

ビーチサッカーについて、新年度はRABがスポンサーから抜けるという話を聞いている。財政的にも厳しいだろうが、町のコマージュとして実施してほしい。旧小泊村で継続して、何年実施しているイベントであり、二千人、三千人の出る大会なので、この後もRABさんがいなくなつても町でやりたい。ただ、やり方については、2日間やるので、初日と2日目の間に夕日の沈むイベントをも入れながら、これ

審査結果及び意見

葛西代表監査委員

その財政的影響は地方自治体にも及ぶのは必須で、町の財政を取り巻く環境も一層厳しさを増すことが予想されます。

このような状況の中、町の自主財源(歳入)の根幹をなす、町税、国民健康保険等が、前年度を上回った額で収入未済額となっている。これらの歳入確保にあたっては、公正、公平な立場にある自治体の役割を果たすためにも、直接未納者との対話を持ち、理解を得ながら辛抱強く、解消に最大の努力を望むものであります。

また、歳出においても、綿密な計画に基づき、より効果的な執行、そして更なる経費の節減を図りながら、効果的かつ効率的な財政運営と持続可能な行政サービスの基盤を確立しつつ、「大地の恵みと海の幸、心ひとつに希望のまち」の実現に向けた体制整備のために、より一層努められるよう望むものであります。

審査に付された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書のほか、企業会計においても関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係帳簿その他の証拠書類と照合した結果、誤りがないものと認められた。

また、予算の執行及び関連する事務処理は適正に行われているものと認められた。

国においては、先の東日本大震災の影響を受け、今後10年以上と言われる長期間の復旧、復興事業の方針と、それに伴う復興財源等の捻出で苦慮されており、

からやってみたいと考えているので、皆さんのご協力をお願いしたい。

■川山委員

下前の小学校、今泉の小学校、また旧小泊の商工会の建物は、まだまだ使える

特別会計決算の質疑と答弁(抜粋)

■荒関委員

国保税の収入未済額約3億に膨らみ、徴収率も低下している。これですと運営していけるのか。

■古川町民課長

一般会計からの多大な繰入金、保険税の引き上げ等が続いているので、経営としては大変よくない傾向だと思ふ。

経済情勢、失業者が増えているなど、短期保険証とか資格証明書を交付しながら、とにかく滞納者との面談の機会は増やしているが、

建物なので、あのままにしておくのはもったいない。職員みんなで集まって、何かこういう利用されないかという話し合いをしていかない。いい案を出して、これから進めていただきたい。

最終的には不動産とかそういうものに対しては差し押さえをかけて、競売もやりたいと思うが、国民健康保険については、我々も本当に困っている。

■小野町長

赤字が余りにも多過ぎるので、一般会計からの繰り入れでまかなっている。保険証の交付をストップすることはできないので、納税をお願いしたいと思う。

辛抱強く説明して、1円でも多く納めていただくように努める。

■荒関委員

国保税の不納欠損額、一千三百七十九万二千六百七十七円についての内訳と今後の対策は。

■熊木税務課長

今回の不納欠損は平成十二年度から十六年度のものを不納欠損した。居所不明が三名、死亡者が三十一名、生活保護受給者が十八名、担税力、税を納める力がない方が六十名で、計百十二名。

今後の対策は、町長から

再三言われているように滞納処分を強化して、徴収に努めたい。

■野上(憲)委員

町が競売にかければ、ちやんと返ってくる。他団体がかければ、他団体のほうが優先して取る。これは当たり前である。積極的に方向づけしないから入ってこないのだから、踏み込んだ中身で考えた方がよいのでは。

■小野町長

滞納整理組合にも町が競売にかけたいと相談しながらやりたいと思う。



一般質問



川山光則議員

ゴミの分別の周知徹底を

Q 町民にはまだまだ燃えるゴミと燃えないゴミの分別がわかっていない人が多いように見受けられる。もし今のようにナイロン、ビニール等を埋め立てに回すと、何年もしないうちに建設中の新処分場も満杯になる。今後の取り組みは。

A 三上環境整備課長 これまでもゴミについては防災無線や広報紙、チラシなどをお願いしてきましたが、効果が薄いことから、行政連絡員の会議や町内会総会、婦人団体の会議などの機会に説明会を開催し、啓蒙普及に努める。



敬老会後に行われたゴミの分別講習会

ゴミ収集業務の業者の選定方法は

Q 現在ゴミの収集業務は、業者の選定に当たって毎年入札を行っている。入札は5年に1度ぐらいいにし、毎年書類等の審査で、問題がなければ継続して業務を行わせてはどうか。

A 小野町長 人件費、燃料費、維持修繕費など変動が見込まれるために、最新の価格で



リフォームされた小泊老人憩いの家

発注することにより適正な入札ができるかと判断していることから、今後も一般競争入札で1年契約を基本としてこの委託業務について実施したい。

リフォームした老人憩いの家の今後の管理方法は

Q 小泊老人憩いの家の利用について、今までは地域のお年寄りにお願いして管理していたが、例えば指定管理者制度を導入

してはどうか。

A 小野町長 来年度からは、港老人憩いの家を含めて指定管理者制度の中で管理を進めていく。

使われていない教員住宅のその後は

Q 以前に質問して、教員住宅を一般財産にして、それからどのように使うかという答弁はいただいたが、その後一向に使いた方とかの提示が無くなったのか。

A 財政課長 平成22年6月17日付で教育委員会より公有財産の引き継ぎがあり、普通財産として財政課の所管となった。今後の進め方として、解体撤去するか売却するかは、土地建物セットで売却する方向で検討したい。

一般質問



塚本悦子議員

中里派立へ融雪溝を設置する予定は

Q 派立地区は道路の幅員が狭く、その上融雪溝がないため、いつも道路の両側に除雪した雪が山盛りとなり、車の交差することもままならぬ状態である。

がないのは、歩行者、特に高齢者にとつて、とても危険であり、以前から町民の強い要望があると聞いているが、設置の意思は。

町として一番の繁華街である派立の本通りに融雪溝

A 三上環境整備課長
区間延長が二千四百メートルと長い距離に及ん

であり、また、高低差があり、融雪溝に必要な水源の確保が非常に難しい。

工事費を算定すると高額な事業費が見込まれ、直ちに設置することは困難なので同路線の除排雪については、これまで以上に綿密に実施する。

Q 財政上難しいとの課長の答弁であったが、実施について町長の考えは。

A 小野町長
融雪溝の設置については、今後の公共下水道の整備計画とも関連するので、今は計画しながら、もう少し検討する。

女性消防団員へ格上げしては

Q 我が町では以前から田茂木、小泊地区に婦人防火クラブはあるが、年々メンバーが減っている。

婦人防火クラブではなく女性消防団員に格上げし、町民に広く募集すべきと考え

るが。

A 小野町長
女性の方々にも隊員になっていただくよう、消防団とともに積極的に取り組む。婦人防火クラブを女性消防団に格上げすることについては、両クラブの意向を確認するとともに、消防団の組織にかかわる問題なので、消防団の幹部の皆さんとも協議する。



定期観閲式での婦人防火クラブの様子

中里派立地区の道路状況

一般質問



荒関富雄議員

税の滞納額の解消に向けての取り組みは

Q

税は歳入における最も有力な財源であり、また町民からすれば義務として納入すべき公的負担である。よって、滞納があれば期限までに納税した善良な町民との間に不公平感が生じることになるので、今後の財政運営にも支障があるのではないか。

A

小野町長

二十二年度の決算では税の収入未済額一億八千二百四万四千二百円で十九年度から二十二年度までで町税の収入未済額が四千八百五十三万五千百十八円増えている。

現年分の徴収を優先し、財源の確保と新規滞納額の抑制に努めるとともに、滞納繰り越しの対策としては県税部門との共同催告や徴収の引き継ぎ、市町村総合事務組合滞納整理部門との連携による訪問徴収や差し押さえ等を行っている。

二十二年度の滞納繰越の調定額は、町民税では五千九百万円ぐらい、固定資産税一億四百万円ぐらいになり、滞納額が増えているのでその原因と解消に向けての取り組みは、また、過去には滞納処分を行ったことがあるのか。

A

熊本税務課長

町民の所得を前年度対比で見ると数億円単位で何年間も落ち込んでいる。要因は景気の低迷が大きな原因でないかと思われる。滞納処分については差し押さえをし、貯金を差し押さえ納付してもらうこともしている。ただ県や金融機関が差し押さえして処分しても、町のほうの順位が遅くなり、なかなか交付金が入ってこない状況にある。差し押さえの前にはいろいろの督促等の努力はするが、どうしてもやむを得ない場合は差し押さえをし、さらに競売にかけるかどうかについて、これからその状況を見ながら、町のほうで競売にかけていく必要があると思う。

一般質問は
インターネット・ライブ中継が
ご覧になれます。

パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館の
ロビーにもテレビ中継されています。
ぜひご利用ください。



HPアドレス <http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>

一般質問



青山雅晴議員

保全隊による事業の継続を求める

Q 保全隊に参加したが、町民の方々がもし来年から保全隊がなくなれば私たちが高齢者が小遣い稼ぎの場がなくなると悲痛を訴えていた。町では善後策を

考えているか。

A 小野町長
民主党に政権がかわった以降、多くの農村整備事業が縮小される中で、そ

の必要性が認められ、継続されてきた事業なので、今後も継続されると考えられたが、震災の影響等で国の財源が逼迫していることから、現在は来年度以降の事業については全くの白紙の状態である。

これまでも事業の継続について要望しているが、今後とも状況を見守りながら引き続き国や県に対して要望活動を実施するとともに、仮に制度が廃止され、国の助成がなくなった場合、そのまま事業が縮小されても、現在の14保全隊の組織の活動が維持できるような形での助成等について、県、土地改良団体や関係団体と協議しながら検討しなければならぬと考えている。

保全隊の活動の様子



小泊地域の用水の確保策は

Q 小泊成滝のため池が冠水して、田んぼにひび割れが発生し、ひどいところでは穂が白く枯れているところもあった。

今年には保全隊の予算でため池の修復に当たったが、来年から保全隊がなくなると、補修もできなければ作業もできない。今後の対応は。

A 飯塚農政課長
小泊成滝のため池は、小泊川の一部をせきとめ、用水として取水しているものであり、成滝地区の稲作農家が管理している。

今後関係農家から状況を伺うとともに、現地の状況の把握のために調査等を行い、また県管理の河川なので、今後県などよい方策がないか検討はするが、基本的には関係農家で管理するのが原則と考えている。

米マイロードの今泉地区の看板設置について

Q 今泉の米マイロードの交差点では、死亡事故は起きていないが、接触事故、物損事故は何度も起きている。農道というこ

とで、看板の設置は難しいと思うが、県のほうに要望しては。

A 飯塚農政課長
ご指摘のとおり小泊方面から進行してきた場合、国道に設置されている案内板に入り口が表示されていないので、入り口の確認が難しい状況にある。案内板の設置が可能か、道路管理者である県など関係機関と協議を進める。

9 月

- 29日 議会広報研修会
- 19日 中泊町敬老会
- 15日 単行案審議、閉会
- 14日 決算特別委員会
- 12日 決算特別委員会
- 9日 定例会一般質問
- 6日 議員全員協議会

8 月

- 29日 西北五広域福祉事務組合臨時会
- 26日 つがる西北五広域連合臨時会
- 25日 民生文教常任委員会
- 24日 議会運営委員会
- 24日 北五地区農業委員大会
- 12日 公立金木病院組合議会定例会
- 11日 第二回臨時議会
- 11日 なかどまりまつり
- 10日 なかどまりまつり

7月

- 4日 国道339号線建設促進期成同盟会通常総会
- 19日 町村議会議員研修会
- 15日 国営小田川二期地区土地改良事業促進協議会総会
- 10日 産業建設常任委員協議会
- 10日 津軽・東京ふるさと交流会

民生文教常任委員会

(川山光則 委員長) 8月25日(木)

〈案 件〉

- 新たな高齢者医療制度に関する陳情書
- その他



議会運営委員会

(兵庫桂蔵 委員長) 8月25日(木)

〈案 件〉

- 平成23年第3回中泊町議会定例会会期日程について
- 提出議案について
- 陳情書の審査結果について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他

